

# 令和2年度 事業報告

※表記について

- 1 「全国高等学校 PTA 連合会」を「全国高P連」と略記する。
- 2 「全国高等学校 PTA 連合会大会」を「全国大会」と略記する。

## I 事業別報告

### 1 高等学校 PTA 活動の質的向上と情報共有に資する研究大会、講演会、研修会等の開催

#### (1) 第70回全国大会の主催

日 程：令和2年8月19日(水) 大会運営会議、歓迎レセプション

令和2年8月20日(木) 分科会

令和2年8月21日(金) 開会式、記念講演、閉会式

場 所：くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）、松江市総合体育館、島根県民会館  
安来市総合文化ホールアルテピア、三刀屋文化体育館アスパル、出雲市民会館

テーマ：「ご縁（えん）づくり」～いいご縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ～

主 管：島根県高等学校 P T A 連合会

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年4月30日臨時理事会に於いて、令和2年度から令和3年度に延期し実施することを（一般法人法第96号に基づく決議の省略）決定した。なお、付帯して令和3年度に開催予定の石川大会以降の開催予定を1年延期することとした。

#### (2) 地区大会の共催

地区大会は、各地区とも新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言下における感染防止等の理由から中止した。近畿地区大会は記念講演のDVDを製作し配付した。

#### (3) 全国会長・事務局長連絡会、全国会長・事務局長研修会の開催

イ 全国会長・事務局長連絡会： 令和2年10月3日(土)／大阪ガーデンパレス（予定）

新型コロナウイルス感染拡大により12月5日(土)に延期し、ZoomシステムによるWeb会議で開催した。

ロ 全国会長・事務局長研修会： 令和3年2月6日(土)

新型コロナウイルス感染拡大により Zoom システムによる Web 会議で開催した。

講 演：テーマ 「キャリア教育のこれから」

講 師：(株)リクルートマーケティングパートナーズ

キャリアガイダンス編集長 山下真司 氏

### 2 高等学校 P T A 活動に関する調査研究

#### アンケートシステムによる情報の収集

調査広報委員会の協力により、アンケートシステム（Google アンケート）を使用し、PTA 活動に関するアンケートを実施した。（対象：高P連加盟 PTA 会長）

実施期間 令和2年12月25日から令和3年1月20日

回答数 2,249名 アンケート結果は、ホームページ及び会報92号に掲載

### 3 青少年の健全育成および生涯学習に資する情報の収集と提供

#### (1) 薬物乱用防止パンフレットの制作および配付

専門委員会として「薬物乱用防止パンフレット編集委員会」を編成し、保護者向け啓発資料として「薬物乱用防止パンフレット」を作成し全国に配付した。本事業は年度ごとに財団法人日本宝く

じ協会に申請を行って助成金を受けているもので、例年同様に約1,500万円の事業規模で実施した。

《 薬物乱用防止パンフレット編集委員会 》

北垣 邦彦 東京薬科大学薬学部教授（薬学博士）

嶋根 卓也 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部  
心理社会研究室長（医学博士）

原田 進 公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター専務理事

小出 彰宏 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官（薬学博士）

中野 真衣子 本会理事、健全育成委員長

《 事業概要 》

発行部数：110万部

配付対象：加盟校新入生保護者 その他

主な改訂：写真を見直し改訂した。

令和3年2月初旬配付

(2) 「自転車、バイク、歩行者のマナーアップ運動」の推進

SNS（ツイッター）において自転車事故防止広告の時限キャンペーンについて、費用対効果の上から、高校生への周知、事故防止に役立っていないと判断し中止した。

(3) 青少年の健全育成に係る事業への助成

各都道府県・市連合会が地域の実情に応じて実施する「高校生のマナーアップ運動に関する事業（街頭活動、啓発活動）」をはじめ、青少年の健全育成に係る事業（研修会、講演会等）に対して助成金を支給した。

【健全育成に係る助成金決定団体】

岩手県高P連、千葉県高P連、神奈川県高P連、奈良県高P連、和歌山県高P連、  
福岡県高P連、長崎県高P連（この他、当初3県が予定していたが中止となる）

（支給総額 999,887円）

(4) インターネットリテラシー向上のための取組み

総務省のILASテストの実施に協力した。来年度は直接教育委員会への依頼するよう総務省に伝えた。

(イ) 保護者啓発の一環として協力した総務省ILASテストを9地区から推薦された学校で実施した。

調査結果のデータを広く活用し、次年度のインターネットリテラシー向上の取組に活用する。

\*ILAS…「Internet Literacy Assessment Indicator for Student」

（青少年のインターネットと利用理解度テスト）

(ロ) 「春のあんしんネット・新学期一斉行動」等、内閣府、総務省、経済産業省、警察庁、消費者庁、法務省、文部科学省、安心ネットづくり促進協議会、全携協（安心ショップ）等と協力して、スマートフォン等の安心・安全な利用に関し、青少年や保護者の意識を高める啓発活動を行った。

(5) 「高校生と保護者の進路に関する意識調査」の実施

隔年実施のため、令和2年度は実施していない。

(6) 全国大会分科会協賛会員の選定

今年度は島根大会が延期となったため、全国大会協賛会員を募集・選定を中止した。

## 4 広報紙等の刊行

### (1) 会報の発行

本会関係の情報を総合的、包括的に提供するため会報を発行した。

第91号 5月15日付発行（調査結果概要、研究成果概要、各地区トピックス等）

今後、会報の紙媒体の発行を中止し、11月15日付発行予定の第92号は11月の発行を延期し、改めて令和3年4月に発行することとした。

## (2) ホームページの充実

本会関係の情報発信を円滑に行うため、ホームページの充実に取り組んだ。調査広報委員会では、東北地区の優秀広報誌の掲載を行った。

## 5 顕著な業績をあげたPTAその他の団体及び個人の顕彰

### (1) 全国高P連としての表彰

本会表彰規程に基づき、団体、個人を各県連へ郵送にて顕彰した。

### (2) 文部科学大臣による表彰事務協力

第70回全国大会島根大会が延期になった関係で、文部科学大臣表彰は、文科省が郵送により行った。

## 6 社会環境（教育環境）整備ならびに家庭の健全化を図る活動

### (1) 他の関係団体、機関との連携

文部科学省、内閣府等の省庁、教育関係機関等との情報交換、連携活動を進めた。

イ 令和2年度全国高P連役員等が就任し、情報交換、意見表明した主な委員

#### 〈文部科学省・内閣府〉

牧田顧問 「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」委員

牧田顧問 「大学入学者選抜方法の改善に関する協議」委員

牧田顧問 「大学入試のあり方に関する検討会議」委員

牧田顧問 「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議」委員

牧田顧問 内閣府「男女共同参画推進連携会議」委員

佐野相談役 「中央教育審議会生涯学習分科会」委員

#### 〈他の省庁および独立行政法人関係〉

泉会長 (独) 日本学生支援機構運営評議会委員

大塚事務局長 (独) 日本学生支援機構実務者協議会委員

中野理事 (独) 大学評価・学位授与機構大学ポートレートセンターステークホルダー・ボード委員

#### 〈社会教育団体関係その他〉

泉会長 AIG 高校生外交官プログラム実行委員

泉会長 (公社) 日本PTA協議会「広報に関する研究会」委員

牧田顧問 安心ネットづくり促進協議会副会長

大塚事務局長 (公財) 日本修学旅行協会評議員、(公財) 日本学校保健会評議員  
(公社) 日本教育会理事、(公財) 古岡奨学会評議員

## 7 賠償責任補償制度の運営に関する活動

### (1) 「全国高P連賠償責任補償制度」普及啓発活動

イ 令和2年度は、加盟学校数が36校減少(3,985校→3,949校)する中、制度への加入校は10校増加(2,231校→2,241校)し、全体の加入生徒数は40,953人減少(1,265,659人→1,224,706人)した。

### (2) 賠償責任補償制度の円滑な業務運営

都道府県市高P連事務局と連携し、賠償加入業務、集金業務等のスムーズな進行・運営を行うことができた。

## 8 その他この法人の目的を達成するために行った事業

### (1) 他の団体との協力関係

イ 《 令和2年度 法人または団体の賛助会員 》

東京海上日動火災保険株式会社

損害保険ジャパン株式会社

AIG 損害保険株式会社

三井住友海上火災保険株式会社

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

株式会社 JTB

株式会社日本旅行